



平成29年度文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

アクティブラーニング手法による伝統的なモノづくり文化の次世代への継承事業

三重県総合博物館 交流展

# 日本の甲冑 武器武具の世界

2018年  
2月3日(土) — 3月18日(日)

〔観覧時間〕 午前9時〜午後5時(土日祝日は午後7時まで、最終入場は閉場の30分前まで)

〔休館日〕 月曜日(ただし、月曜日が休日の場合は火曜日)

〔観覧料〕 無料

〔主催〕 伝統的なモノづくり文化の次世代への継承事業実行委員会

〔共催〕 一般社団法人日本甲冑武具研究保存会近畿支部・東海支部 三重県総合博物館

〔後援〕 三重県博物館協会

〔協力〕 特定非営利活動法人三重ドリムクラブ(高虎手作り甲冑教室)



— 武家の装いを支えたモノづくりの伝統 —

日本の伝統美を

とくにとくご覧あれ!

鉄黒漆塗切付小札紺糸威二枚銅具足

# 日本の甲冑

## 武器武具の世界

「武家の装いを支えたモノづくりの伝統」

日本の甲冑(鎧兜)は、戦いの装束であるばかりではなく、金工・漆工・染織などの技術を集成し作り上げられた優れた美術工芸品でもある。特に、戦乱がやんだ江戸時代においては、一部の上級武士が象徴的に珍重し、様々な素材と高度に発達した分野の技術の粋を駆使して制作された。そこには、日本の伝統技術の多くを見ることができ、いわば日本の伝統技術の縮図と言っても過言ではない。また、その斬新なデザインはCOOL JAPANとして、世界各国からの注目も集めているところでもある。

そこで、今回の交流展では、武将たちの文化美意識の象徴であり、実践に即した日本のモノづくりの素晴らしい伝統の証でもある武具甲冑類を、その技術とともに紹介する。

【関連行事】無料

記念講演会「日本の甲冑―歴史と変遷―」(当日受付)

★特に専門的な知識がなくても分かりやすく、甲冑について広く知識を得られます。

講師…稲田和彦氏(京都国立博物館名誉館員)

日時…2月3日(土)午後1時30分～午後3時(予定)

場所…三重県総合博物館レクチャールーム

対象…小学生以上

●私の甲冑デザインコンクール(当日受付)

2月3日(土)～3月18日(日) 対象…どなたでも

●甲冑に親しむ着付体験(当日受付)

2月12日(月・振休)、3月10日(土) 対象…身長90cm以上

●子ども甲冑づくり体験(事前申込)

2月18日(日) 対象…小学5年生～中学3年生



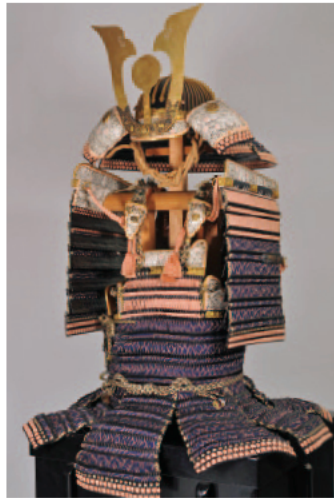
鉄金箔押桃形兜



鉄三十枚張三十間大円山星兜鉢



緋威大鎧



櫻鳥糸威肩赤胴丸写



鉄錆地紺糸胸取縦矧二枚胴具足



鉄錆地齒形付烈勢類



捕り物道具



羅紗地一文字三星沢瀉紋陣羽織



菱紋網代土俵空礎



鳳凰蒔絵梨地鞍・鎧



甲冑武具研究書

MieMu

みえむ

三重県総合博物館

MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

三重県津市一身田上津部田3060

(三重県総合文化センター向かい) 〒514-0061

tel 059-228-2283(代表) fax 059-229-8310

mail MieMu@pref.mie.jp

web <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>

tw @mie\_pref\_museum

fb <https://www.facebook.com/mie.pref.museum>

【開館時間】午前9時～午後7時 ※展示エリアは、平日午後5時まで、土・日・祝日は午後7時まで(最終入場は、閉館の30分前まで)【休館日】月曜日(祝日の場合はその翌日が休館)【アクセス】公共交通機関:津駅(近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道)西口下車、津駅西口から三重交通バス(「総合文化センター行き」「夢が丘団地行き」)約5分、「総合文化センター前」下車/徒歩:津駅西口から約25分/自動車:「伊勢自動車道「津IC」から約10分、「芸濃IC」から約15分

